安心して暮らせるまちだへ

熊沢あやり（自由民主党）

問　周産期医療を行うと赤字が増大するというが本当か。

市民病院総院長　新生児の重点病棟が九〇％稼働しますと黒字になります。そういうように利用率が高くなっていけば、大赤字の原因になることはありません。

問　災害時電柱が倒れると緊急自動車が通れなくなってしまう。災害時の事も考え、無電柱化は考えられないか。

建設部長　災害時における啓開道路を無電柱化することの重要性は十分認識しています。今後も都と連携し、効果的な整備を検討していきたい。

問　子育て支援の観点から子どもに対して、高齢者に行っているようなインフルエンザ予防接種補助はできないか。

保健介護推進担当部長　子どもに対しての公費助成による接種は、難しいと考えています。

鎌倉街道（町田第四小学校付近）

FC町田ゼルビアに応援を

上野孝典（公明党）

問　FC町田ゼルビアの練習会場確保のため町田市も尽力すべきだ。

生涯学習部長　体育施設の現状の利用実態に応じて柔軟に対応し、練習場の確保に協力していきたいと思います。

問　市営テニスコートの利用時間を夏季は延長すべきと考えるが。

生涯学習部長　成瀬のテニスコート以外は、現在でも夏季時間は七時まで延長しています。成瀬クリーンセンターのテニスコートにつきましても、七時まで延長できるように調整していきたいと思います。

問　障害者自立支援法の新体系施設に移行した小規模作業所に対し、家賃補助などの支援をすべきと考えるが。

岩崎副市長　家賃補助等についても現在検討をしているところです。

乳幼児医療費の無料化について

山下哲也（公明党）

問　すべての所得制限を撤廃し、乳幼児医療費の完全無料化をするという課題は、いつ解決するのか。

岩崎副市長　前向きに検討していきたいと考えています。

問　感染症や食中毒などの健康危機に対する情報提供として、電子メール配信を行ってはどうか。

保健介護推進担当部長　情報提供を迅速に行うため電子メールは有効な手段と認識しています。今後、町田保健所と十分協議をするとともに、他市の状況等を調査研究していきたい。

問　小山田小の児童数の予測と施設対応は。

学校教育部長　短期推計で平成二一年度に一八学級を推計しています。今後の開発動向や人口流出入等を十分調査し、学区変更で行うか、増築するかの判断をしていきたい。

親になる準備としての育児教育

河辺康太郎（民主党・社民ネット）

問　子どもたちが育児に触れ、体験できる機会をふやすべきだが、町田市の考えは。

教育長　中学校では、家庭科や総合的な学習の時間で、また、中学二年生の職場体験事業では、今年度、幼稚園、保育園の協力を得て、幼児との触れ合い体験学習を行っています。教育委員会としては、中学生の幼児との触れ合い体験は、家族や家庭生活を考えさせる貴重な機会だと考え、今後とも幼稚園や保育園との連携に立った触れ合い体験学習の充実を図っていきたいと考えています。

問　防災士制度の積極的な活用を。

防災対策担当参事　従来進めてきた自主防災組織のリーダー講習会や班長講習会等の機能も含めて、防災士制度の活用と防災士との連携について研究していきます。

持続可能な教育及び経済を問う

大塚信彰（まちだ新世紀）

問　文科省も提言している持続可能な開発のための教育の実践として、地域・学校・保護者の協力により学校に森をつくってみませんか。

教育長　紹介いただいた取り組み事例、成果などを見きわめながら町田市の学校でできることを考えていきたい。議員提案の件については、今後研究したいと思います。

問　「あなどれません町田」を具体化させるために「回廊都市まちだ」という考え方に基づき、地域環流型経済の仕組みをつくろう。

市長　商業、ツーリズム、日帰り、泊まりだとか、そういったものが複合して、この地域で経済がある一定程度回っていく、そんな時代がくるんじゃないかと思います。地域活性化懇談会の中でも、将来を見据えた考え方で議論がなされていると感じています。

文学館の検証と年金記録問題

新井克尚（民主党・社民ネット）

問　来場者一〇万人の見込みが実際は四万人弱、年間コスト見込み七千万が実際は一億と甘く、会議室利用率たった三割、建設までに一二億の文学館、本当にここまでの税金を使う必要があったのか。

市長　文化的な施設は収支だけではもちろん評価できないということが第一です。ただし、今の数字だとコストパフォーマンスとしては低いのかなという感じを受けました。

生涯学習部長　入館者をふやすあらゆる努力をしなければならないと考えています。一方、貴重な資料や情報、人材が文学館に集中するようになったのも事実です。

問　町田市民の記録が写ったマイクロフィルムは閲覧が可能な状態にあるか。

市民部長　マイクロフィルムについては、今現在見ることはできないと聞いています。

子どものスポーツ広場を創ろう

友井和彦（まちだ新世紀）

問　町田市廃棄物最終処分場を活用し、子どものスポーツ広場（野球・サッカー場）や自由遊びのフィールドを地元要望を踏まえ創っては。

市長　願望としては、私ももっとたくさんのフィールドを持つべきだと思っていますが、現実の方はかなり落差がありますので、努力をしていきたいと思います。

問　市制五〇周年を機に市民・企業・行政の協働で五〇万本の植樹を。

企画部長　議員が指摘した横浜市の例ですが、資料を取り寄せて、ぜひそういったやり方も踏まえながら研究していきたいと思います。

問　首長の多選自粛・禁止に関する条例を制定しては。

市長　私としては、今、市長在任二年目の時点です。多選を云々する、そんな立場にはないと考えています。

新市民病院のめざす姿と課題は

川畑一隆（公明党）

問　周産期医療、緩和ケア、がん拠点病院、救急医療など新市民病院の使命は何か。取り組みも含め市長に問う。

市長　町田市保健医療計画にあるように、地域から求められている医療機能の確保、安全安心な医療体制の一層の強化が使命だと考え、使命実現のためには、経営の安定が必要になるので、企業性を高めるため、地方公営企業法の全部適用を実施していきます。

問　市民団体が行っている福祉・医療関係の啓発活動に市のより一層の支援体制を。

保健介護推進担当部長　今後さらに支援のあり方について検討していきます。

問　重点エリアを決める等犬のふん害防止を強化するための条例化の検討を求める。

市長　今すぐということではないですが、規制というものが必要だろうと思います。

親支援プログラムで子育て力を

宮坂けい子（公明党）

問　育児不安やいらいら感を解消し、子育ての自信と安心を得るための、親育ち支援プログラムの活用を求める。

市長　実施の決断はついていませんが検討します。

子ども生活部長　新しい取り組みですので、今後十分に研究していきたい。

問　軽度発達障がい等の早期発見、早期支援のために、五歳児健診の実施を求める。

岩崎副市長　専門医師を初めとするスタッフの確保と保護者の理解や受けとめ方等を初め、発見後のフォロー体制の整備など課題も多く、今後国や近隣自治体の動向を見ながら研究していきたい。

問　財源確保や住民参加の施策実現に、政策メニューで寄附を募る寄附条例の制定を。

企画部長　今後、先進自治体の制度等の研究を深めていきたい。

市民一人一人が輝く町田に！

吉村こずえ（民主党・社民ネット）

問　男女を問わず一人一人が個性と能力を十分に発揮する機会が確保され、仕事と生活の調和の視点から男女平等推進施策の充実を。

生活文化担当部長　町田市男女平等推進計画に基づく男女平等参画社会の実現に向けた取り組みの普及啓発に努める必要があると考えています。

問　学校給食に地場産農畜産物導入の推進を。

農業振興担当部長　学校給食への地場農畜産物の導入校を推進するため、本年度中に（仮称）学校給食推進協議会の設立を考えています。

問　在宅の介護生活の支援のため、地域密着型の小規模多機能ホームの実現を。

保健介護推進担当部長　市としては、独自の施設整備補助や運営費補助ではなく、他のサービスとの併設型の施設整備方法を研究していきたい。

男女平等推進センター